鵜の木地区地域情報紙

さんぽみち

第59号

発行：地域力推進鵜の木地区委員会
編集：鵜の木地区　地域情報紙編集委員会
事務局：鵜の木特別出張所　電話（3750）4241　FAX（3750）2418

地域七中生の活躍

大森第七中学校長　杉浦　克博

本校では毎朝「おはようございます」のさわやかな挨拶から一日がスタートします。

現在、学区域、地域の皆様との絆を大切に「オアシス運動」に取り組んでいます。

お陰様で学校全体が活気に満ちあふれ、落ち着いた毎日を過ごすことができています。

オ・ア・シ・ス運動

◎本校の特色ある教育活動

今年度の教育目標として、三つの大きな柱を紹介いたします。

一つは、生活指導の充実です。毎日の授業はチャイムとともに始まり、生徒へ時間の大切さを学ばせます。早寝早起き朝ご飯の家庭における啓発を全校朝礼、各学級で行います。さらに、年2回の子どもの心サポート月間を位置づけ、メンタルチェックを行っています。この取り組みを推進することで、教師と子どもたちとの信頼関係が深まって参りました。

二つ目は基礎学力の向上を図ることです。特に、指導方法の改善に関しては、数学で少人数・習熟度別学習を導入し、理科・英語においてはティーム・ティーチング指導を実施しています。そして、他の教科も含め全教科で「確かな学力」の育成に向けて取り組んだ結果、区の学習効果測定ではめざましい学力向上が見られました。

◆小学校への出前授業

◆数学習熟度別少人数授業

◆朝学習

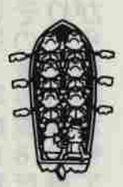
出張所だより

「うのき水辺の楽校（仮称）」設立準備会が開催されました

去る7月18日（土）、嶺町小学校において、学校・地域・行政関係者等が出席し、第二回設立準備会が開催されました。

現在、国では、子どもたちの河川の利用を促進し、地域における子どもたちの体験活動の充実を図るため、「子どもの水辺」再発見プロジェクトを推進しています。水辺の楽校は、これを活用し、より多くの人々が多摩川とふれあう活動の展開を目指します。

水辺の楽校の設立によって、地域住民、企業、学校、町会等の多面的な方々が関係され、新しいコミュニティーの形成や地域づくりが行われることが期待されます。



調布地区総合防災訓練が行われました

平成21年9月27日（日）大森第七中学校で調布地区総合防災訓練が開催されました。

当日は、町会役員を始め、たくさんの方にご参加頂き、無事に訓練を行うことができました。

みなさんのご協力本当にありがとうございました。

夏の受賞者

（順不同・敬称略）

【大田区交通安全功労者】

団体　千鳥北町会

【平成21年度大田区自治会・町会正副会長20年以上在職者に対する感謝状贈呈】

南久が原一丁目町会　高橋　信作

秋の行事予定

○第17回鵜の木地区連合運動会

日時：10月18日（日）
午前9時30分～15時
会場：大森第七中学校グラウンド

※雨天時は体育館で午前のみの実施となります。

○赤い羽根共同募金運動

期間：10月1日～10月31日

みなさまの暖かいご支援をよろしくお願いします。

○鵜の木東町会防災訓練

日時：11月8日（日）
午前10時～12時
会場：東調布第三小学校

○鵜の木二丁目・三丁目町会合同防災訓練

日時：11月15日（日）
午前9時30分～12時30分
会場：多摩川鵜の木緑地（鵜の木三丁目32番地先多摩川河川敷）

○千鳥南町会防災訓練

日時：12月6日（日）
午前9時30分～
会場：千鳥南町会会館

※同日、もちつき大会実施

○千鳥北町会防災訓練

日時：12月6日（日）
午前10時～12時
会場：旅館観月前

※同日、もちつき大会実施

○南久が原一丁目町会防災訓練

日時：12月6日（日）【予定】
午前10時～
会場：平川会長宅前（南久が原1-16-5）

※同日、もちつき大会実施

◎予定ですので変更になる場合がございます。ご注意ください。

オ・ア・シ・ス運動が心の東京革命推進モデルに指定されました

「あいさつ」を介して子どもを育成する取り組みとして、鵜の木地区のオ・ア・シ・ス運動が平成21年度心の東京革命推進モデルに指定されました。

鵜の木地区少年野球大会・ミニバスケットボール大会が開催されました

7月19日(日)鵜の木地区少年野球大会・ミニバスケットボール大会が大森第七中学校で開催されました。

少年野球大会では、一部は東三スネークスA、二部は嶺小フェニックスが優勝し、ミニバスケットボール大会では、男子・女子の一部、二部ともリトルスターズがそれぞれ優勝しました。

野球、バスケともに手に汗握る試合ばかりで、夏の暑さに負けない『熱い』試合の連続でした。

白熱したゲームの連続でした！！

編集後記

今回は大森第七中学校生徒の活躍（教育・地域ボランティア・各部活動の成果など）について、杉浦校長先生よりご寄稿を賜りました。ご多用のところ誠に有り難うございました。地域の皆様方、これからも七中生の活躍振りを温かく見守り応援してください。

編集長　永田　清

三つ目は、地域でのボランティア活動の推進です。本校では、ボランティア活動に全校生徒が最低一回参加することを奨励しています。地域の様々な活動に参加することで子どもたちの人格形成に大きく役立ち、また、地域力の活性化に役立っています。

主な活動として、ガーデンパーティ、七中同窓会、鵜の木地区一斉清掃、青少年スポーツ大会、地域商店街祭り、大田防災訓練、地区連合運動会、七中生と遊ぼう等です。

◆ 地域一斉清掃

◆ 鵜の木地区連合運動会

◎本校の二大行事

◆ 七中生と遊ぼう会

◆ 運動会

◆ 学芸発表会

◎活躍する部活動

部活動は学校生活を送る上で子どもたちの大きな楽しみの一つです。運動部は、ほぼ毎日練習を行い、公式試合だけではなく、練習試合も積極的に取り組んでいます。

その成果は、男子バスケットボール部の関東大会準々決勝進出、女子バレーボール部、野球部、ハンドボール部、陸上競技部、男子ソフトテニス部等が都大会に進出しています。また、吹奏楽部は、都の吹奏楽コンクール、年間を通して多くの地域行事に参加し高い評価を得ています。

さらに個人参加で卓球、水泳も都大会に進出、また三年生の篠原航平くんが全国中学生ウェイトリフティング六十二キロ級で準優勝を果たしています。

これからの七中は、学校・家庭・地域のより一層の連携、子どもを育てる体制づくりが重要だと考えます。今後も皆様方に親しまれるよう努力して参ります。

七中男子バスケ部 関東大会ベスト8進出 おめでとう

8月7日～8月9日に行われた「第39回関東中学校バスケットボール大会」に東京都代表4チームに選ばれ出場し、見事ベスト8進出を果たしました。

大森第七中学校の緒戦は、山梨県代表の甲府市立富竹中学校が相手でしたが、序盤から終止リードし、最終スコア67－54で見事緒戦突破を決め、続く第2試合は、千葉県大会優勝チームである習志野市立第五中学校との対戦でした。出足こそリードを奪われる展開でしたが、徐々に追い上げ、62－49でベスト8進出を決めました。準々決勝では、埼玉県代表の上尾市立大石中学校に惜しくも敗れましたが、七中生の頑張りに胸が熱くなりました。

おめでとう

調布地区少年野球大会 大森七中準優勝おめでとう

8月21日～8月23日に行われた調布地区少年野球大会において、大森第七中学校が見事、準優勝に輝きました。

おめでとう

地域情報紙さんぽみち　2009年（平成21年）10月1日発行

千鳥北町会長が変わりました

退会にあたり

米本　篤生

蒲田のトキワヤ化粧品店の千鳥町支店として営業させて頂いたのが昭和29年。翌30年に結婚、二人の子を育てあげ、父母も送りました。平成11年70才で閉店、その後平成16年から5年に渡り、北町会会長として微力ながら勤めさせて頂きました。

これはひとえに町会の皆様の御盡力によるものと、あらためて感謝申し上げます。

今回、家庭の都合により、田園都市線、たまプラーザに転居致す事になり、次代町会長吉﨑氏始め、理事の方々には、快く引継ぎをお受け頂き、大変有難く思っています。

今後共、北町会の発展を祈りつゝ一層なごやかで楽しい町作りに皆様の御協力を心から願っております。

私共も、殆ど一生に近い故郷の町ですので、何かの折には立ち寄らせて頂きたいと、夫婦共々願っております。

引継ぎあいさつ

吉﨑　迪三

此の度、米本様から会長職を引き継ぎました吉﨑です。

千鳥北町会は、池上線千鳥町駅と第二京浜の間に位置する町です。会員の皆様、住民の方々も協力的で大変有難く思ってます。

米本前会長には永年のご苦労を感謝すると共に、築き上げて下さった人間の輪を大事に引継いで参ります。

千鳥北町会では、バス旅行、夏祭り、防災訓練、餅つき大会等の行事も自分達で企画し、楽しく安全に開催しています。

これからも、より住みやすい町にして行きたいと思っております。

どうぞ皆様のご協力をお願い致します。

ご存知ですか？

七十一年前のニュータウン

千鳥南町会　渡辺靖彦

千鳥二丁目の一画に戦前、慶応義塾大学の運動場が在り池上線に「慶大グラウンド前」駅（現千鳥町駅）も、あったと聞いていたが、世代も変わり当時を知る人も少なくなり思い立って調べて見ました。

区画された住宅街が広がっています。約1万4千坪の敷地に総面積、昭和初期に昭和6年、陸上競技場、野球場、打球場、三面から成る慶大新田運動場が完成。昭和6年～12年まで慶大野球部の本拠地として1万5千人収容の観覧席を備え、当時では模範的な設備だったようです。運動場の平面図を現千鳥南町地区略図に当てはめますと、当時の運動場がピッタリ収まりました。

慶大グラウンド跡地

町会会館前の南側に整然と分譲当時の家屋は見掛けませんが区画は当時のままです。

町並みの中央に緑地帯がある一風変わった道路が目をひきます。住民の方が前の植込みで四季折々の花や木を育てている姿を見かけます。とても運動場跡地とは思えない程の静かな住環境を保っております。町会会館の東端を南北に走る第二京浜国道が昭和15年に予定された東京オリンピックのマラソンコースを想定し建設が行われていました。戦争の激化により中止となった「幻の五輪」ご存知でしたか？

昭和9年に着工、鉄道も主要道路の交差は全て立体交差として、西大崎～横浜鶴見間は電柱が無い（道路下へ埋設）片側二車線と歩道、銀杏並木の美しい景観で当時としては世界水準の道路が造られた。

生まれ育って70年、緑の多い千鳥の町で地域の人達とともども心豊かに住みたいと思う、この頃です。

往時の面影を残すものは全く無いのが残念です。昭和12年横浜日吉へ移転し、運動場跡地は昭和13、14年に順次「財団法人 同潤会」に売却され400戸が「自立的な環境と機能を備えた地域社会」を構成する試みとして同潤会千鳥町住宅が、分譲され、今で云う所のニュータウンの先駆けです。

東京大空襲の戦火も免れ、

（1950年 小泉 貞夫氏撮影）

※当時の景観を留める貴重な写真です。